



みんなで祝う 誕生会

園長 鳥塚 恵子

先日の分散登園では、様々な時間に対応していただきました。お家の方々にとっては、送ったと思ったら、迎えに行くという短い保育時間でせわしない日々となってしまったと思います。ご協力本当にありがとうございました。久しぶりに、また初めて登園した子どもたちは、少しずつ園に行くことを思い出し、園での生活に慣れ、友達や先生と関わる楽しさを思い出したり、感じたりする期間となりました。

また、園庭の工事が始まって、約2ヶ月がたちました。ホームページでもお知らせしましたが、以前の園庭とはすっかり様相が変わってしまいました。工事の音や揺れ、臭い等初めての経験に子どもも大人も驚きつつ、これから過ごす長い時間の工夫を、教職員一同知恵を絞っている毎日です。

子どもたちは、始業式、入園式から3週間がたち、かなり園生活に慣れてきました。今は梅雨の真っただ中ですが、その雨は、お米や野菜・果物が育つにはとても大切な雨であり、人が生きていくための飲み水や洗濯・お風呂やトイレに使う水にもなります。子どもたちに人気のある『しずくのぼうけん』という絵本があります。雨が降ってみんなの役に立ち、海に戻っていくというお話ですが、梅雨の季節はこのように大事な役目をもっているパワーのある季節とも言えます。

6月29日、今年度初めての誕生会がありました。4、5、6月生まれのもも組3名、きく組3名、そら組7名、もり組8名の合計21名の子どもたちの誕生会を行いました。保育園でも、子どもたちの誕生日（または近い日）にクラスでお祝いをしています。

毎月行う誕生会は、みんなの前に出て、自分の名前や好きな食べ物を言ったり、お家の方が見に来てくれたりする、子どもたちにとっては楽しみな行事の一つです。子どもにとって、誕生会の一つ大きくなれてうれしいと感じる記念日です。一つ大きくなったので、もっとしっかりしようという気持ちや何かにチャレンジしようとする意欲や自信も育ちます。みんなに愛されて育った子は、大きくなっても、自分や他人を大切にできる立派な大人になるでしょう。このように誕生日をみんなでお祝いすることには、大きな意味があるのです。それぞれのご家庭でも生まれた時のエピソードを語り合うなど、思い出に残る素敵な誕生日にしてくださいね。

幼稚園では、今後も、幼児期に楽しい思い出をつくっていきけるよう、様々な活動に取り組んでまいります。